

# 千代女あさがおまつり出展用 朝顔作り作業目安

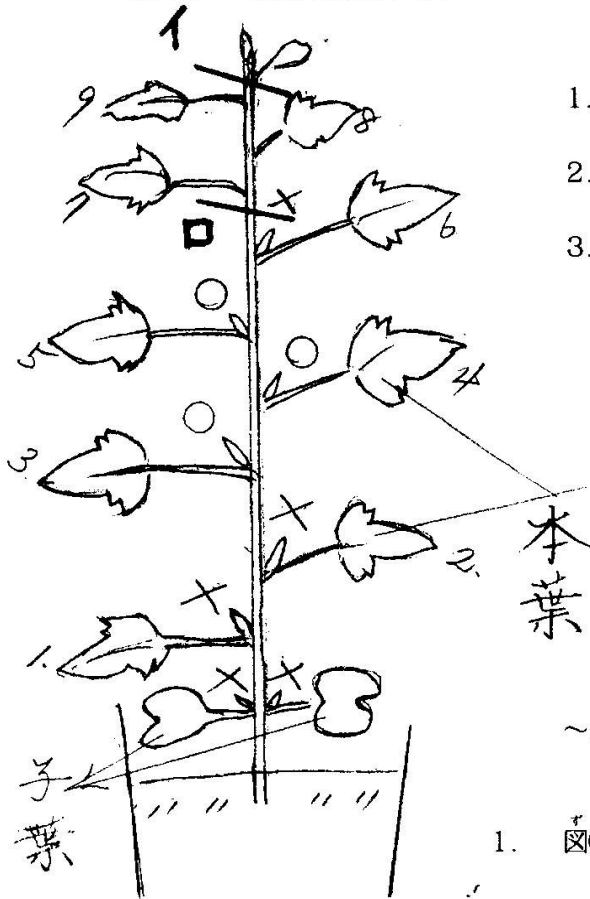
令和3年度版（審査：7月30日）栽培暦

月 日	作 業 ・ 肥 料	水やり・その他
	<b>【子づる仕立て】</b>	
	配布された苗を本鉢植えまでは、日光と風通しの良い所に間隔を広げて置いて下さい。	水道水は汲み置きし日向水にする。
6月21日	本鉢定植 置肥 I B化成 (N10.P10.K10) を5g~10gづつ2ヶ所に施す ※乾燥肥料なら大サジ1杯位を2ヶ所に施す	移植の後2、3回に分けたっぷり水をやり、 2、3日は水やり不要
	置き場所 日光が当たり風通しの良い所に、高さ60cm位の台に鉢幅位の 間隔で並べ置く	その後、乾いたら 1鉢 150cc位 肥料をやった日は水はやらない
25日	水肥 【ハイポネックス(6.10.5)】1,000倍120cc位以後1日おきに	
26日	本づる仮摘芯 本葉8、9枚で芯を切る(別添・摘芯図参照)	2、3日毎に鉢回し 日光によく当て できるだけ乾かし気味にし 根張りを良くする
29日	本づる摘芯 双葉2枚と本葉6枚残して切る	
7月2日	水肥を800倍にし、120cc以後1日おきに	
4日	子づるを2本に (子づるが15cm~20cm位に伸びた時)	午後4時以降は乾いても水はやらない
7日	子づるを1本に (太くつぼみが良くついているものを選ぶ) 肥吸葉も切る	アブラムシ等の消毒を
9日	あんどんを立てる つるを左巻きに支柱に巻いていく。(午後がよい)	
11日	水肥を600倍位にし、150cc以後毎日 ※雨が降ったり止んだりで蓄がつきにくいときはリン酸、カリ分の水肥を3、4日 続けてやる	
14日	増し土をする ※4、5日置いて少しづつ2回位	よほど乾いたときは 1日2回水やり
22日	初花開花 水肥打ち切り 上段つる止め	水のみ 300cc位 1日3、4回、3日間後は 1日1回、2回200cc位
28日	午後から展示会場へ鉢の搬入	
30日	千代女あさがおまつり【開会式：午前9時予定、審査：午前5時30分より】 " 展示期間	
8月4日	鉢の搬出	
8月27日	千代女あさがおまつり【表彰式：午前9時30分予定】	

★ 天候や置き場所によって 多少の違いがありますので、目安にしてください

てしん 挿芯 樹 花を咲かせたい時は必要です。

～1回目～ 図②をご覧ください



1. ②を参考 本蔓イの部分をつみ取る
2. 2～3日後 本葉6枚を残して口の部分をつみ取る
3. 脇目 (○印のもの) 3つ残しとる。

図②

～2回目～ 図③をご覧ください

1. 図③を参考に残した脇目から伸びた蔓が10cm程になったら本蔓の先端を残した葉をつみ取る。
2. 脇目のうち花芽の多いものを1本選び他の蔓は1日おきに3回に分けてつみ取る。

図③

